

2021年6月

学校運営協議会会長様、協議会御中

子どもと教育を守る八王子市民の会

子どもたちをこの夏の東京オリンピック・パラリンピックに連れていくのは、やめるようにお願いしましょう。

この夏の東京オリンピック・パラリンピックの競技を、学校の先生方が引率して観戦する計画が進められています。

この計画は、もともと2020年の大会に向けて作られたものです。その時点から熱中症や飲料の持ち込み制限、引率する先生方の人数など心配な点がありました。いまや新型コロナ感染拡大、さらに変異株が猛威をふるう事態になりました。変異株は「若者も重症化する」「子どもを通じて感染が広がる」と危惧されています。

しかし、計画は以前のまま実施するとのことです。

心配な点は多数あります。

- ・大勢の子どもたちが電車やバスを利用して会場まで安全に行き来できるのか。
- ・引率の先生方には子どもの事故や病気に対応する人数の余裕はあるのか。
- ・行きかえりや観戦の途中で発熱などした場合、医療機関は受け入れてくれるのか。
- ・暑い中、マスクをしたまま観戦するのか。
- ・そもそも感染防止はできるのか。

しかし、観戦は授業日として扱われるとのことで、行くのが当然、という扱いです。

オリンピック・パラリンピック開催の是非はともかく、学校が一律に連れて行くのは、やめるべきではないでしょうか。

東京新聞（6月5日付）では、「都教育庁指導企画課の神田恭司・主任指導主事は、（中略）『感染当日の暑さやコロナ感染の状況を踏まえて、校長が中止を判断することもできる』と理解を求めると」と報道されています。当日の状況を待つまでもなく、心配が多すぎるこの計画はやめるよう、校長先生にも、東京都や八王子市にもお願いしていきましょう。